

令和6年度第2回坂井市地域公共交通会議 会議録

開催日時 令和6年8月28日(水)午前10時00分～

場 所 多目的研修集会施設1階 交流ホール

出席者 三寺会長

住民代表: 南委員、五十嵐委員、杉本委員、高岡委員、林田委員

関係機関: 大館委員、中出委員(代理出席)、辻委員、山本委員、黒瀬委員、
清水委員、吉川委員、刀根委員(代理出席)、奥野委員、島田委員

事業者: 佐々木委員(代理出席)、増田委員、小林委員、矢崎委員

関係部署: 中田委員、細川委員、北出委員、村中委員 (計24名)

欠席者 住民代表: 竹内委員

関係機関: 松田委員 (計2名)

事務局 生活環境部・小針部長、公共交通対策課・伊藤課長、小林、平尾、渡辺、藤田

1. 開会

事務局の報告及び委員紹介

委員出席状況・会議成立(24/26人)を報告

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

(1)次期交通計画策定について

- ・坂井市地域公共交通計画策定に係る業務委託について(資料1)
- ・市民アンケート調査の実施について(資料2)

<事務局> (資料1・2に沿って説明)

<三寺会長> アンケート調査については、今後の路線バスの改正を踏まえた内容とした方が良いという考えで、開始時期を変更させていただいた。

<福井運輸支局> 京福バスが10月にダイヤの見直しを行う。ダイヤ改定を行ってからアンケートを行うことで、より良い計画に繋がると思う。減便等に対して現在の利用状況や今後の意向を把握いただき、計画に反映してほしい。

<バス協会> 10月のダイヤ改定の影響でスケジュールを遅らせるとのことであるが、設問も改訂を踏まえた形にする必要がある。満足度については、改定後に満足度だけ聞いても「満足」と答える人は少ないと考える。オンデマンド交通についても竹田線での改定があり、

それも踏まえた内容としなければ、今後の改善に繋がらない。さらに申し上げると、改善が必要と思われる事項についても質問しているが、改善内容は便利になったところと不便になったところとで内容が異なるため、設問の聞き方を工夫する必要がある。また、バスの減便等に伴い、市民の公共交通の利用がどのように変化するのかも聞くべきである。

<事務局> 反映できるところは改善したい。

<えちぜん鉄道> アンケート調査の問3について、運行本数の増便を聞く必要があることは分かるが、方面や時間帯についても聞いていただけると、より細かな改善に繋がるかと思う。

<三寺会長> 前回のアンケート調査結果との比較検討といった事情もあるが、そのような要素も含めて考えたい。より実態に沿う形で、効率的な運用は重要になってくるため、事務局で協議させていただきたい。

<市民代表委員> アンケート調査の対象者について、抽出条件を年齢や家族構成などを考慮するのか教えていただきたい。また、アンケート調査を実施するにあたり、広報等で事前に案内があると良い。

<事務局> 家族構成などは考慮せずに、世帯単位で無作為抽出を行う。広報は検討する。

<三寺会長> 事前に事務局に対し、高校生に QR コードを活用して調査を行うことで、交通弱者の意見を聞くことを提案している。この件についても事務局と今後相談する。

4. 協議事項

(1) 坂井市オンデマンド型交通の運行区域拡大について

<事務局> (資料3に沿って説明)

【質疑なし】

【承認多数につき、協議事項承認】

(2) 坂井市オンデマンド型交通の停留所の変更について

<事務局> (資料4に沿って説明)

<三寺会長> 新設について、各地区で地元からの要望を受けて停留所を増設しているが、今後停留所を増やし続けるべきかは、計画を策定する段階で考える必要があるかと思う。

【その他意見なし】

【承認多数につき、協議事項承認】

(3)ケイカン交通「竹田乗合タクシー線」ダイヤ改正について

ケイカン交通より資料5について説明

【質疑なし】

【承認多数につき、協議事項承認】

(4)ケイカン交通「三国運動公園乗合タクシー線」の廃止について

ケイカン交通より資料6について説明

<三寺会長> イータクが浸透していることと合わせて、背景には運転手不足があるということ
ことで間違いないか。

<矢崎委員> 運転士の高齢化が進行し、不足する現状にあることは間違いない。

<住民代表委員> 1便当たり1人を下回っているのであれば廃線はやむを得ないと思う。

【その他質疑・意見なし】

【承認多数につき、協議事項承認】

(5)京福バス 営業所から2キロメートルを超える車庫の利用について

京福バスより資料7について説明

【質疑なし】

【承認多数につき、協議事項承認】

(6)京福バス 10月ダイヤ改正について

京福バスより資料8について説明

<坂井高校> 市内の高校に対して、残してほしい時間帯の希望については聞いていただいた。内容としては厳しいものになるが、現在通学している学生の利便性が大きく損なわれることは無いようにしていただきたい。ただ、今後、中学三年生の進路選択には相当の影響

があるものであると懸念している。

<三寺会長> 運転士問題が改善されたら便数を元に戻してほしいという意見はあったか。

<坂井高校> そのような意見はあったが、一度市外の高校に進学するという流れができしまうと、また市内の高校に進学する流れに戻すのは難しいと考えている。今回の議論については、減便が確定した後での議論となっており、減便という結論ありきでどうしようもないと感じている。

<三寺会長> 今回は通常とは異なる形で減便の話が進んでいる。この形が本当に正しかったのかは検証してフィードバックしたい。今回は行政主体で話が進んだが、利用者目線での意見のすり合わせも積極的に行うべきとも考えている。ただ、今後の在り方が重要かと思うので、公共交通会議でも共有させていただく。

<坂井市教育委員会> 坂井高校からの発言の通り、帰宅時の便の調整はしていただいたものの、それでも利便性が損なわれ、進学への影響が発生することが考えられる。子どもの目線に立ち、子どもの意見を聞くことができるように対応していただきたい。

<三寺会長> 少子化の進行で定員割れも発生しているが、このような状態になってから市民も現状に気が付いた節はあるため、市民もより問題について考えるべきである。皆さんも今後はこの問題について、自分事として考えていただきたい。

<DMO さかい観光局> 東尋坊線は昨年10月に増便した直後に減便となった。この路線は市民利用だけでなく観光客の利用も多い。現在東尋坊周辺では大規模な再整備が行われており、観光地としての付加価値は高まっている。また、雄島でも再整備する動きがあったり、11月からは蟹が解禁されたりする。このような状況での減便は観光客にとっては非常にネガティブに映る可能性がある。我々は東京や軽井沢などで宣伝したりもするが、芦原温泉から観光地への移動の難しさについて指摘されることもある。また減便についてお伝えすると、タクシーやレンタカーなどその他の代替交通について問われ、大手旅行会社等からは、JRと二次交通をパックにした商品が作りにくくなるため、良い反応は無い。三国温泉組合と議論をした際にはバス会社に要望書を出すという意見も出た。再整備が行われることで、観光客が増えた場合は増便に舵を切っていただきたい。

<三寺会長> バス会社だけでなく、市町と事業者が一体となって今後の方向性について検討することが必要である。東尋坊は福井県では大きな観光地であるが、鉄道ではアクセスできないため、重要な議題である。

<坂井商工会> 減便の発表後、商工会に対してご意見はまだいただいていないが、実際に

減便されると、利用者から意見があるかと思う。代替案は今後考えていく必要がある。

<福井県交通まちづくり課> 今回の減便については県も関わっており、ご指摘はごもっともであると感じている。東尋坊線など、様々な路線で減便の案を頂いたが、影響力を考慮し充分議論したうえで決定した。今後の復便については、減便の原因が運転手不足であるため、先ほどご説明のあった2キロメートルを超える場所での車庫の活用などで運転手の負担軽減を目指したい。また、運転手確保についても現在議論しており、9月議会で予算確保できないか考えている。公費で支援させていただき、復便も含めて事業者と協議していく。また市民や観光客の利用状況を考慮して、優先的に戻す路線を考えていきたい。

<三寺会長> 情報開示がなく、他市ではそれが問題となった。過ぎてしまったことは仕方がないとして、進行の方法も含めて、課題はぜひ事務局に共有していただきたい。公共交通関係で交通事業者から意見等はあるか。

<えちぜん鉄道> 運転手不足で仕方ない面もあるが、生活や観光のために利用されているため、対策をしっかりとっていただきたい。また丁寧な説明が必要である。

<ハピラインふくい> 京福バスは運転手不足の中で法令順守もしており、現在のサービスレベルを維持できない状況にあることは理解しなければならない。ただ、今後の利用状況を見て、復便できるところについては復便していただきたい。また、住民アンケートの結果を見て市民のご意見を反映することで、京福バスに限らず二次交通全体の運行内容について改善を図るべきである。

<三寺会長> バス再編の重要なキーとなっているのは47・48系統(春江丸岡線、三国丸岡線)である。2年前に議論したコミュニティバスの廃止の際に路線バス化したが、その路線も減便となる。計画の重要な位置づけとなっている路線であるため、今後どうするかは難しい課題であるが、理解をいただき、計画に反映させたいと考えている。

<バス協会> 対象路線に関する問題点を会長からご指摘いただいたが、県との議論をした結果、という結果に至るプロセスが弱いと感じている。始発終発はかなり見直されており、47・48系統で言えば終発は3時間繰り上げされている。これで生活として成り立つのかご意見をいただきたい。3時間繰り上げられることとなった背景や理由について県から説明があってほしかった。

<福井県交通まちづくり課> 利用状況や代替交通の有無を考慮して対象路線を選定した。運転手の労働時間の制約があるため、減便はやむを得ないが、利用状況に応じて復便も考慮したい。

<バス協会> 20時に利用していた利用者は17時には利用できない。そうすると生活の質自体が変わってしまうため、利用者の生活の質をどのように担保するかを行政には考えていただきたい。

<三寺会長> 市民の目線で減便を考えられていたとは言えない。今後どのように生活の質や市民交通を確保するかは考えていきたい。その他、市民の方から何か意見があれば。

<市民代表委員> イータクの件だが、住民に意見を聞いたところ、芦原への直通便が欲しいという意見が多かった。運転手不足の中だが、土日や17時以降の運行に対する要望が多かった。他にはバス路線の話ではないが、電話がつながりにくいという意見も聞いている。

<三寺会長> 減便が実施されてから気づくことも多いかと思うので、坂井市のあるべき姿について、声を拾っていただき、次の会議で共有していただきたい。デマンド交通の芦原への直通便に関する希望については、デマンド交通は鉄道や路線バスの空白を埋める交通なので、そのような希望に応えられるかは難しいところである。

<市民代表委員> 最近バスを久しぶりに利用しようとしたところ便数が非常に少なく、不便であると感じた。特に学生等にとっては使いづらく、ハピラインふくいやえちぜん鉄道に流れてしまう悪循環になっているのではないか。鉄道を利用する場合は駅まで送迎する必要があり、その点でバスは便利である。ただ、最終便が18時台であると、そもそもバス通勤が不可能である。

ハピライン丸岡駅では丸岡城が近くにあると勘違いした観光客をたまに見かける。駅構内には丸岡城まで4kmという案内や、京福バスの電話番号の案内もあるが、汚れており気づきにくい。

<三寺会長> 生活者目線と観光者目線それぞれで細かな不具合はたくさんあると思う。例えばサインなど、ソフトの面が不足していると感じるが、ソフトの部分はすぐに対応できると思う。また、生活者目線のものについてはたくさんご意見をいただいているので、調査・検討し、計画の方に反映させたい。

<市民代表委員> 通学便、日常便、観光便とそれぞれの在り方を考えることが重要である。すべてをよくすることは難しいのでバランスを考えるべきである。自身も免許返納した時に公共交通がどうなっているのか、と考えることがある。公共交通機関は高齢者の中でも利用者が少ないが、機会があれば利用者の意見を聞いて、お伝えしたい。運転手不足の中、辛い・厳しいという言葉が前面に出ているが、前向きなメッセージも必要ではないか。

<三寺委員> 運転手不足は今年に入ってから大胆な施策を取ってきたこともあり改善してきてはいるが、まだ苦しい状況にあることは変わらない。もしもバスの運転手に興味がある

方が周りにいたら、市や事業者に気軽に声をかけていただきたい。

<市民代表委員> イータクについて、土日運行を望む声や電話対応が厳しいという声をよく聞いている。コミュニティセンターの職員にはこのような高齢者を手助けする窓口となっ
ていただきたい。

また、福井のバスは車両が大きいサイズを小さくすることで運転しやすくしたり、ラッ
ピングして親しみやすさを PR したりするのも良い手ではないか。

<三寺会長> これは非常に前向きなアイデアである。公共交通の案内係の設置は自助努
力で出来る範囲である。また、バスのラッピングも意識改善を期待できる。これは次の会議
で議題になるかと思うので考えたい。

<シニアクラブ> イータクの PR が進んでいないと感じる。シニアクラブでは活動でイー
タクを利用した場合、利用料を助成する制度を設けているが、利用者は少ない。そのためイー
タク含めて地域公共交通に関する理解を深める講座等があると良いと思う。公共交通では
なく、個人のクルマに乗りあって移動している人もいる。また、イータクは 17 時以降や土日
祝日に運行していないのも課題であると思う。

<三寺会長> イータクに関する発言が出るということは、委員の方々はイータクを理解し
ていただいているということかと思う。また、イータクについては路線バスとの共存や代替
えを如何に行うかということの検討が必要である。ただ、イータクのようなデマンド交通が
増えると行政の負担が増えるという研究結果もある。確かに非常に便利だが、それが市にと
ってベストなのかということも考えていただきたい。

【他に意見等なし】

【承認多数につき、協議事項承認】 ※3名挙手なし

<三寺会長> 今は書面(資料)でしか見えていないが、実際に減便されたら見える部分も
多いかと思う。いろいろな意見に耳を傾けて、次回会議で共有していただきたい。

5. その他

<三寺会長> 減便について最後議論があったが、自分だったらどうするかを考え、気づい
たことは共有していただくなど、積極的に取り組んでいただきたい。

6. 閉会

次回開催予定 12 月頃